



一度きりの人生だから、  
好きなことを仕事にして、  
社会に貢献していきたい。

鹿児島ウーマンライフ研究会 代表  
整理収納アドバイザー

## 矢野 圭夏さん

Yano Keika



**Profile** ☆ 1979年大阪生まれ。大学を卒業後、OA 機器販売会社へ就職。大阪・東京でのキャリアを経て、結婚を機に退職し、鹿児島へ。2011年、女性の仕事とキャリア支援を目的として、鹿児島ウーマンライフ研究会結成。整理収納アドバイザー1級、米国 NLP 協会認定 NLP マスタープラクティショナーの資格を持つ。

### 自分らしく暮らすための 整理収納をアドバイス

新年度がスタートし、そろそろ2カ月。仕事や家事が忙しくなるにつれ、雑然としがちなのが会社のデスクや自宅のクローゼット。どこから手を付ければいいのか、どうすればモノもココロもすっきりと片付くのか。そんな悩みに答えてくれるのが、「鹿児島ウーマンライフ研究会」代表で、整理収納アドバイザーの矢野圭夏さんだ。「モノが捨てられない、安いとつい買ってしまふ。かつては私自身も、片付けられない人」でした。また働いていた会社で、仕事の仕組みをもっと効率化したいと危機感を抱くようになって。そんな時に整理収納アドバイザーの資格を知ったんです。

### いま、やりたいこと、 求められることを即実践

現在は資格を活かして、講演活動を行うほか、企業研修や個別相談なども手掛ける。また、2011年に結成した「鹿児島ウーマンライフ研究会」では、男女共同参画の概念を軸に、社会で女性が自分らしく活躍できることを目指し、さまざまな勉強会を運営している。「自分の好きな仕事やキャリアを大事にしたいという女性たちが、職場や家庭だけでは学べないこと、見えないことを共有できる場を作りたいと思っています。女性だからといって自分の可能性を制限することなく、好きなことで社会に貢献できるという選択肢を知ってほしいんです」。

勉強してみると、片付けには理論があり、人それぞれに片付けられない理由があることを知った。だからこそ、その理由さえクリアにすれば、誰もが片付けられるようになる。と気付いたという。「ダイエットに例えると、消費より摂取カロリーが増えると太るのは当たり前です。よね。だから、自分のモノ太りの原因を知ることが大切です。私自身は自分が似合うのか分からず、ついつい服を買ってしまいがちでしたが、パーソナルカラー診断を受けたことで、服選びの基準がガラリと変わりました」。

いま、働く女性が直面しているのが、職場のコミュニケーションの問題。その悩みに答えたいと、実践心理学 ZIPP の資格も取得した。「自分の思いを犠牲にして、職場で頑張る女性はまだまだ多い。企業の中で自分をどう活かしていくかという部分までサポートしたいと考えています」。

### Close up!



#### 時間管理術を支える お気に入りのアイテム

お父様からの就職祝いだったという腕時計は10年間の愛用品。手帳やペンもパーソナルカラーでおしゃれにコーディネートしている。

鹿児島ウーマンライフ研究会  
<http://k-woman.jimdo.com/>

### かがやく秘訣

**Q** あなたにとって「仕事」とは？  
自分を成長させてくれるもの。一つひとつ目標を達成した経験が自信につながりますし、試行錯誤を重ねながら、人としても磨かれていくと実感しています。

**Q** 仕事以外の趣味は？  
ゴルフや料理です。鹿児島の自然を堪能でき、ストレス解消にもなります。

**Q** 鹿児島の好きなものは？  
居心地が良すぎて、終の棲家になるのではと思うほど(笑)。温泉が手近に楽しめるし、食材も肉・魚・野菜のどれも素晴らしいです。

**Q** 今後の目標は？  
一人でも多くの女性に、自分の可能性を信じ、社会で活躍してほしいので、そのための情報発信、場づくり、ネットワークづくりに力を注いでいきたいと考えています。